

FD 研修会 (chromebook(クロームブック)の紹介) 報告

日 時：2022 年 2 月 15 日(火)14：50～15：30

講 師：ビジネス実務学科 藤元 宏一教授

場 所：A108 教室からオンライン形式(meet)で実施

題 名：chromebook(クロームブック)の紹介

参加者：教職員 33 名 (うち事務職員 1 人含む)

(内容)

先日行われた高大連携 FD において、小中高で GIGA スクール構想がスタートし、chromebook 利用度が最も高いことが紹介された。chromebook については、Windows や Mac に比べ認知度が低く、またどのような用途があるか知らない方も多いために、その特徴や用途、また GIGA スクール構想への本学の対応案などについて、meet を利用したオンライン形式で紹介された。

chromebook は、Linux ベースで主に Google 社の Web ブラウザである chrome(クローム)を利用する形式の chromeOS(クローム オーエス)が搭載されたパソコンであること。比較的低性能ハードウェアで動作が可能であること。Google アプリを始めとして、chrome ブラウザで実行可能なアプリはほぼ全て利用可能であること。本学関係者は、マイクロソフト オフィスも無料で利用できること。低価格で、強固なセキュリティを備え、また頑丈でバッテリー駆動時間が長いこと。さらに本学 wifi への接続方法などが紹介された。併せて、購入前に「ハードウェアの保証期限」と「自動更新ポリシーの期限」を確認すべき事項として説明があった。



このような特徴から、小中高校における GIGA スクール構想では chromebook の利用割合が最も高く、特に 2022 年度から石川県の公立高校において高校生全員(1～3 年)に 1 人 1 台提供(貸与)され、他県や私立高校でも 1 人 1 台の環境整備が検討されていることが紹介された。

その後、meet に接続した chromebook を使って、各種 google アプリやマイクロソフト オフィス、アマゾン プライム ビデオ動画、その他アプリの動作が可能であることがデモンストレーションで紹介され、低価格であるが充分授業等に利用できることが確認された。

最後に、石川県の公立高校のように全体的に chromebook の利用度が高まり高校までに 1 人 1 台の授業を経験してくれば、その後に高校生が進学してくる本学においても chromebook を 1 人 1 台授業で活用する体制整備が必要となる可能性が高く、その場合の対応案が示された。ハードウェアが整備されるようになれば、授業内での使い方などについて、FD 等で対応していく必要性も示された。今後、どうしていくべきか全学を挙げて議論が必要な課題であることが確認された。

大谷先生より、美術学科入学生のほとんどが chromebook に高校時代までに慣れてくると使わなければならないのでは？と質問があったが、現状では Windows や Mac のアプリはそのまま使えないため、特に美術学科の CG 系アプリについては、chromebook を利用できないと藤元先生より回答があった。